

躍進

広報

1

白河

2014.1.1 No.98



■ 斎藤正夫「躍進」(1985)



市民に開かれた議会運営の実現と 白河の発展に力を合わせましょう

「住む人が誇りを持ち、 訪れる人が楽しめるまち」を ともに創っていきましょう



白河市議会議員 須藤博之

白河市長 鈴木和夫

平成26年の年頭に際し謹んでご挨拶を申し上げます。
東日本大震災から間もなく3年の月日が流れようとしています。被災され今なお避難生活を強いられている皆さまに対し、改めてお見舞い申し上げます。
さて、昨年は、震災からの本格的な復興、そしてさらなる発展へと市民の皆さまとともに歩みを進めてまいりました。市のシンボルでもある小峰城の復旧工事の着工や西郷擲目線結城工区の開通、そして健康スポーツセンターの建設を含む市総合運動公園の改修整備、さらには、現在着々と整備が進んでいる新市民文

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
大震災から間もなく3年、解決までに時間のかかる原発問題は残っているものの、復旧総仕上げとなる小峰城の石垣修復に着手するなど、復興に向けて着実に前に進んでいます。
さて、本格的な地方分権時代を迎え、これからの市町村は地域が抱える課題とともに、少子高齢化や人口減少、産業構造の変化など広範な課題にも的確に対応していかなければなりません。そのためには、目の前にある課題に対処しつつ、将来を見据えた時間軸の視点による政策も必要です。

化会館や国道4号4車線化など、目に見えて着実な復興、そして発展を遂げてきております。
今後、地方分権が加速していく中で、地域自らがその責任において、課題の解決や地域づくりの主体的に取り組まなければなりません。そのため、行政だけでなく、私たち議会、そして市民の皆さまが一体となって地方自治に取り組んでいく姿勢が求められてくると考えております。
そのような中、議会においては、市民に開かれた議会運営の実現並びに市民の信頼と負託にこたえる議会を目指すため、「議会改革特別委員会」

市では除染など放射能対策に全力で取り組む一方、財政の健全化を図りながら、地元企業への支援や企業誘致による産業の振興、道路や学校などインフラの整備、豊富な歴史・文化的資源を活かしたまちづくりなどに力を入れて取り組んでまいりました。その結果、ヤフーをはじめ多くの企業が進出、3月には三菱ガス化学に土地が引き渡しとなり、国道4号4車線化も年度内には白河病院入口まで延伸されるなど、発展の礎となる事業が次々と形になって表れてきています。また、多くの利用者で賑わう図書館の隣に、文化・芸術の発信拠点となる新

を設置し、議会改革に取り組んでいるところです。その中で、議会報告会や各団体との意見交換会の開催を予定しており、現在準備を進めております。開催の折には、ぜひ皆さまに足をお運びいただき、我々の活動をより身近に感じていただければ幸いです。
議会は市民の皆さまの最も身近な存在として今後も汗を流してまいります。白河市の発展のため、安心安全なまちづくりのため、より一層の市民生活の向上のため、ともに力を合わせがばりましょう。結びに、市民の皆さまにとりまして、幸多い一年となりますようお祈り申し上げます。

市民文化会館の建設が間もなく始まります。
今後はこれらの事業に加え、生活道路の整備や医療の充実など地域の利便性や安全性により配慮したきめ細かな施策を重点的に推進するとともに、子育て支援や確かな学力の向上など白河の未来を担う「人づくり」の施策にも取り組んでまいります。
まちづくりの目指すところは「住む人が誇りを持ち、訪れる人が楽しめるまち」の創出です。自分たちのまちは自分たちで創るという自主自立の気概をもって、市民の皆さまとともに今年も歩んでまいります。

中新城盆踊り



甚句保存会を中心に町内会、子供育成会、老人クラブ、おどりの会、消防団など地域が丸となって祭りを開催しました。

地域文化を絶やさないために
 地域全体で行う催しは盆踊りだけではなく、櫓が壊れ中止してしまいました。20年がたち、踊りを知る人も高齢になつたため、今復活しないと地域の文化が途絶えてしまうのではないかと考えました。
 活動を始めると、盆踊りをみんなが待ち望んでいたことが分かりました。飾りづくりなどの準備を地域全体で進め、年配者が子どもたちに踊りや太鼓などを教えたことで、世代間交流を図ることができました。
 今後は、中新城の盆踊りが夏の風物詩として地域外にも認知されるよう、活動を続けていきたいです。



中新城甚句保存会
 会長 塩田賢一さん

■特集／地域づくり活性化支援事業事例紹介

地域の元気を応援します！

市では、自分たちの地域を元気にしようと、自ら考え取り組む事業に対し、活動資金の一部を補助しています。
 今月号では、各地域の中から1団体に焦点を当て、事業への思いや意気込みなどを紹介します。

野出島の里づくり事業



新そば交流会では、地元の大正琴などの演奏を聞きながら、打ちたての「そば膳」を皆さんにたん能していただきました。

地域資源をいかし活性化へ
 子どもたちのために、美しい田園風景を残したい。耕作放棄地を活用して人を呼び、地域を活性化させたいとの思いから有志を募り活動しました。
 「菜の花を見る会」、「ホテル探勝会」、「そばの花を見る会」、「新そば交流会」を開催、回を重ねるごとに参加者が増え、周囲の人たちも協力的になり、地域に活力がでてきました。
 会員の職業は多様で年齢層も幅広く、この活動が心の活力になっていきます。今後も地域資源をいかし、品質の高いものづくりを心掛けながら、みんなで楽しく息の長い活動を続け、地域の活性化につなげていきたいです。



野出島地域活性化プロジェクト
 会長 鈴木勝美さん

子育て家族の居場所事業



集会所等に出向き「お出かけ広場」(年10回)を実施。安全な落ち葉を使って、子どもたちと焼き芋づくりに挑戦しました。

安心安全な空間でのびのび遊ばせたい
 震災以降、親が何事にも敏感になり、子どもの外遊びも控えるようになったことで、親も子どももストレスを抱えるようになり、この状況をみて、子どもたちを安心安全な空間でのびのびと遊ばせたいと思いました。
 そこで、以前から交流のあった長崎・福井・広島等の方から落ち葉や木の実などを無償でいただき、「しぜんとあそぼう」や「お出かけ広場」を実施することができました。
 参加者も多く、このようなイベントを待ち望んでいたことが分かったことから、これからも子どもたちが笑顔になれる活動をしていきたいです。



たんぼぼサロン被災者向け支援実行委員会
 代表 永野美代子さん

白河市地域づくり活性化支援事業

地域の特性をいかした自発的な取り組みで、地域活力の向上につながる事業に、活動資金の一部を補助します(補助率は、事業経費の3分の2以内で、50万円以内を限度)。
 ただし、国・県などから支援を受けていたり、政治、宗教、営利目的、物品の購入や委託の経費が大半を占める事業は助成の対象となりません。
 詳しくはお問い合わせください。

問 本庁舎地域支援課 ☎21111 内2256
 各庁舎総務課 表郷 ☎2111 大信 ☎402111 東 ☎2111

平成25年度に採択された事業

白河地域

- 子育て家族の居場所事業
- 再生可能エネルギー導入推進 市民啓発事業
- 地域協働防災ネットワーク構築事業
- 白河歴代藩公行列

東地域

- 琴平相撲復活祭
- 釜子地域活性化・子供達に郷土愛継承事業
- 野出島の里づくり事業

表郷地域

- 手作り絵本で復興応援事業
- 表郷復興プロジェクト事業
- 絶滅危惧種「ビャッコイ」保全研究事業
- 第13回竹ノ内盆踊り会
- 深渡戸地区伝統行事の復活
- 牛頭天王祭

大信地域

- 中新城盆踊り
- 大信こだま太鼓5周年記念公演
- 楓と曼珠沙華の里創り事業

深渡戸地区伝統行事の復活



わら棒で害虫を払い豊作を祈願する「むじなぶぢ」。50年ぶりに行われたため、行事を知る方からとても喜ばれました。

伝統行事で地域の交流を深めたい
 昔は、伝統行事を通して地域交流がありました。今では開催日の夜に大人が集まるだけとなってしまいました。昔のように交流が活発になれば防犯にも役立ち、世代間交流が進めばお年寄りが元気になり、子どもの情操教育にもつながると思います。伝統行事を復活させ、交流を取り戻そうと考えました。
 地域に呼びかけたところ、「稲祭り」はほとんどの世帯に参加いただき、「むじなぶぢ」は子どもたちが地域の家を回ることで交流が図られ、距離が少し縮まりました。
 今後も継続して、地域の交流を深めていきたいです。



深渡戸地区伝統行事復活実行委員会
 委員長 滝田宏さん

再興で伝えたいこと

東日本大震災からもつづく3年。原発事故の影響で、多くの方が故郷を離れた生活を強いられる中、幾多の苦難を乗り越え、再興に向けて頑張っている人たちがいます。今月号では、浪江町から本市に拠点を移し、再興への道を歩み出したお2人に焦点を当てて紹介します。

伝統の窯を守り続け、新天地で陶芸の歴史と技術を伝えたい



やまだしんいち 山田慎一さん

「大堀相馬焼」の窯元に生まれる。愛知県で2年間陶芸の経験を積んだ後、実家に戻り家業に就く。平成15年にいかりや商店13代目を継承。「走り駒」の絵にこだわりを持っている。「白河の人は、ほかの地から来た人にも分け隔てなく接してくれます。最近では工房の近くに住む方も訪れてくれます」。

白河工房

- 所 在 大信増見字下川原11-7
- 業 種 陶器製造販売（大堀相馬焼）
- 操業開始 平成25年11月30日

開所式では鈴木副市長（左）が開所を祝い白河だるまを贈呈。100人を超える人が訪れ、伝統ある窯の再興を祝った。



いかりや商店

江戸時代後期から約300年続く伝統ある窯元。「青ひび」「走り駒」「二重焼」という特徴がある大堀相馬焼の製造販売をしている。伝統的な技法を用いた従来の作品だけでなく、現代のニーズにあった作品まで多種多様な製品を取り扱うほか、学校やカルチャースクール等での陶芸教室も行っている。平成25年11月には白河工房が完成し制作を開始した。

も前向きに行こう、そして子どもたちに自分の仕事を見せたいという思いが強くなりました」。

工房を建てるには様々な苦労がありました。土地の選定もそのひとつ。候補地の中から、故郷に似た雰囲気がある場所を選びました。

「開所式では、改めて皆さんの支えを感謝しました。今後は白河市への貢献とともに、故郷の浪江町や大堀相馬焼をアピールしていきます」。

大堀相馬焼の窯元は、半数以上が休業しています。すべての窯元の再興が山田さんの願いです。仲間に白河工房を見てもらい、再興の参考にしてもらえたらと考えています。

「県南地域にも陶芸の伝統と歴史を伝えていきたいです」。目を輝かせながら話すその表情は、この地域に新たな伝統工芸品の誕生を感じさせました。

再興に込めた、仲間たちへのメッセージ

震災後は、自身の身の置き

方すら分からない状況で、今日、明日のことしか考えられない日々が続いたと話す草野さん。そのような中でも、避難した社員の方の身を案じながら、会社の幹部の方と連絡を取り合い、再興の道を探りました。仮工場（棚倉町）での生産再開を足掛かりに新工場の建設を決意します。そしてついに、本市に自社の工場が完成し、本格的な操業を開始しました。

「高速道路や新幹線など交通の便が良いこと、何より、取引先が近くにあったので、会社の拠点は白河に置きたいと考えていました。資金の問題や不慣れた場所での土地の選定など、いろいろと苦労しましたが、市役所をはじめ関係する皆さんに心温まる支援をいただき、とても良い場所に工場を建設することができました。親せきも知り合いもい

ない土地ですが、仕事を通して関係する皆さんと、交流を深めることができるのがうれしいです」。

再興はゼロからのスタートでした。本社工場時の社員の方は避難先がバラバラで、それぞれが新天地で生活を始めていたため、こちらの工場でも働いてもらうのは困難な状況。人員の確保を新規雇用に頼り、仕事の内容を一から教えることになりました。

「はじめのうちは大変でしたが、社員は一生懸命仕事を覚え、今ではとても心強く感じています。こうしてアイ・ディー・イーが操業していられるのは、本社工場時の元社員たちが長年汗水を流して、努力して会社を支えてくれたおかげです。この思いを忘れることなく大きな原動力にして、社員たちとともにこれからを歩んでいきます」。

新工場の建設には自分なりのメッセージがあると話す草野さん。

「苦勞しながらも前向きに

頑張っているよ」という同胞へのメッセージです。これが浪江の仲間たちに伝わり、少しでも元氣と勇氣を与えることができたらうれしく思います」。

- 所 在 白坂一里段 6-285（新白河ビジネスパーク）
- 業 種 ワイヤーハーネス製品の製造
- 操業開始 平成25年6月10日
- 社 員 数 25人

昭和60年に本社工場を浪江町に設立。原発事故の影響で、西郷村に仮本社を置き、棚倉町の工場を借りて生産を継続した。その後、再興の場として新白河ビジネスパークに新工場を建設することを決め、平成25年6月に完成し操業を開始した。



(株)アイ・ディー・イー 白河事業所

Industrial Dynamics Electronics Co., Ltd.



くさのやすはる 草野泰治さん

(株)アイ・ディー・イー代表取締役。大学を卒業後、両親が経営する浪江町の電線工場に就職し、工場経営に携わる。その後独立、同町に現在の会社を立ち上げた。「白河は小峰城や南湖公園があり、風情を感じます。落ち着いたのがあると住みやすいところです」。

VOL. 8



小峰城石垣再生への歩み

修復状況を定期的に公開

文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310



本市のシンボル小峰城。東日本大震災で石垣が崩落し、現在、修復に向けた作業を進めています。「小峰城石垣再生への歩み」では、修復作業の様子や再生に向けた取り組みをお知らせします。

修復工事は現在、本丸南面の石垣で行われています。工事の様子や、震災後の姿を多くの方にご覧いただけるよう、定期的に一般公開を始めました。初回の12月15日には、清水門から前御門手前までを公開し、多くの方が見学に訪れました。

石垣の修復作業を直接見る機会はありません。この機会にぜひご覧ください。なお、工事の状況や天候等により、公開の制限または中止になる場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

《公開予定日時》
1月19日(日)・2月16日(日)・3月16日(日)（毎月第3日曜日）／午前10時～午後1時
※職員が工事の状況を説明します。

▶解体作業の様子

▶12月15日に行われた一般公開の様子

「消費者教育講演会」開催します

本庁舎生活環境課 ☎1111 内2162

落語家の林家木久扇師匠を講師に迎え、ユーモアあふれる話術で、様々な消費生活に係るトラブルへの対応等について講演を行います。

- 日時 2月13日(休)午後1時15分から（午後0時30分開場）
- 会場 市民会館（手代町）
- 講師 林家木久扇
- 入場料 無料 ※入場整理券（当選はがき）が必要です。
- 定員 1,000人 ※応募者多数の場合は抽選になります。
- 応募方法 往復はがきに次の内容を記入し、ご応募ください。当選は返信をもってかえさせていただきます。

- ▷往信用はがき
表面 〒961-8602 白河市八幡小路7-1 白河市役所生活環境課行
裏面 ①氏名（ふりがな） ②性別 ③年齢 ④自宅の郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥同伴者（氏名・年齢・性別）※同伴者は1人のみ
- ▷返信用はがき
表面 応募者の郵便番号、住所、氏名
裏面 何も記入しないでください。
- 応募期限 1月17日(金)必着
※不明な点はお問い合わせください。

皆様のお越しをお待ちしています

林家木久扇



より良い介護サービスを目指して！

「介護相談員」派遣事業は、介護サービス利用者・事業所・行政の橋渡しの役割を担っています。今月号では、事業の概要と介護相談員のインタビューをお届けします。

本庁舎高齢福祉課 ☎1111 内2724



「介護相談員」派遣事業とは

「介護相談員」派遣事業は、介護サービスを提供している施設や事業所に介護相談員を派遣する事業です。介護相談員は、利用者の悩みや不安に耳を傾け、それが「行き違いや連絡不足によるものか」「介護サービスの改善に関わるものなのか」などを見極め整理します。そのうえで、施設職員と意見交換を行い、利用者により良い介護サービスが提供できるよう活動しています。また、施設や事業所で利用者の要望・疑問を調整することは、サービスの改善点を探る手掛かりとなり、質の向上にもつながります。

市では、家族介護の経験がある人や高齢者保健福祉の知識がある人など、12人の方に介護相談員の委嘱をしていて、相談員は2人1組で市内の32施設を訪問しています。

市では、平成14年から「介護相談員」派遣事業を開始しています。昨年、開始当初から活動している2人の相談員が、永年功労者として全国表彰されました。これからも、市民の皆さんが安心して介護サービスを受けられるよう活動していきます。



介護相談員
マスコットキャラクター
クーちゃん

Interview 永年功労者として全国表彰されたお2人を紹介します

本音の声にやりがいを感じます

介護サービス利用者の目線で話を聞き、「介護サービス利用者・事業所・行政の橋渡し」が介護相談員活動の原点です。認知症高齢者の話を聞く機会も多く、意思の疎通が困難なときは、とても迷いますが、利用者の本音を聞くことができたときは、介護相談員としてのやりがいを感じます。



橋本近子さん
(金勝寺)

より良いサービスを目指します

平成14年から介護相談員活動を続けていますが、受け入れてくださる施設スタッフのご理解とご協力があり、今まで続けることができました。感謝申し上げます。今後も利用者がより良いサービスを受けることができるよう、利用者の声に耳を傾けていきたいです。



齋藤喜恵さん
(新白河)

白河駅前のイルミネーションが点灯 「希望の光」が幻想的な光景をつくる

JR白河駅前から市立図書館まで続く通路沿いに、約2万球のイルミネーションが点灯しています。

これは「希望の光」をテーマに、市中心市街地活性化協議会が様々な団体の協力を得て装飾したもので、12月14日から点灯を開始し、2月11日まで実施されます。

大正建築の白河駅舎やモダン建築の市立図書館の明かりと、イルミネーションが作り出す幻想的な光景を、ぜひご覧ください。



▲JR白河駅前のイルミネーション

糖尿病予防特別講演会 糖尿病予防のポイントを語る

11月30日、市立図書館で「糖尿病予防特別講演会」が開催され、約140人が参加しました。

講演会では、福島県立医科大学医学部医学科准教授の佐藤博亮さんが「糖尿病はなぜ怖い？」をテーマに、糖尿病や合併症を予防するためのポイントや、健診を受けることの大切さなどを話しました。

また、講演に先立ち、血糖値の改善に取り組んだ2人による体験談の発表や、糖尿病ゼロ作戦標語コンクールの表彰式が行われました。



▲真剣に話を聞く参加者

市民樹木剪定講習会 樹木の管理方法を学ぶ

11月14日・21日の2日間、城山公園（郭内）で「市民樹木剪定講習会」が開催され、市内緑化の促進と公園内の樹木をボランティアで管理している「樹木の里親制度」の登録者を含む23人が参加しました。

講師を務めた(有)永野造園代表取締役の永野常芳さん（大信隈戸）が、松や梅などの初歩的な剪定知識や技術、実践的な技術など、樹木の管理方法を分かりやすく楽しく説明し、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲分かりやすく説明する永野さん（左）



▲パネルディスカッションの様子

景観まちづくりシンポジウム 景観でおもてなしの心をかたちに

11月23日、市立図書館（道場小路）で「白河における景観まちづくり～景観による地域の活性化を目指すために～」をテーマにシンポジウムが開催されました。

基調講演では、東京大学アジア生物資源環境研究センター教授の堀繁さんが景観について分かりやすく解説し、景観でおもてなしの心をかたちにすることが商売繁盛や地域の活性化につながると話しました。続いて行われたパネルディスカッションでは、白河らしさと地域活性化の関係や、景観まちづくりを進めるためにこれから取り組むべきことについて、意見が交わされました。

会場には約150人が来場し、参加者は興味深く耳を傾けていました。



▲興味深く耳を傾ける参加者

災害に係る情報発信等に関する協定を締結 大規模災害発生時の情報発信に一役

市では、災害発生時に、ホームページのアクセス急増によるサーバの停止で情報発信に支障をきたすことを防ぐため、複数の発信手段の確保に努めています。そのひとつとして、11月13日、ヤフー(株)と「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しました。これにより、有事にサーバの負荷を軽減させるキャッシュサイト（ホームページの複製）を公開、災害情報を発信するほか、平時でも避難所マップをヤフーのサイト上に掲載できるようになります。



▲ヤフーのサイト上に掲載する避難所マップ（イメージ）

まちひと

話題を写真で紹介!



力を合わせてヨイショ!
大信地区市民綱引き大会
12月1日/大信総合運動公園(大信上新城)



降雪に備えて
雪吊り作業
12月5日・6日/翠楽苑(南湖公園内)



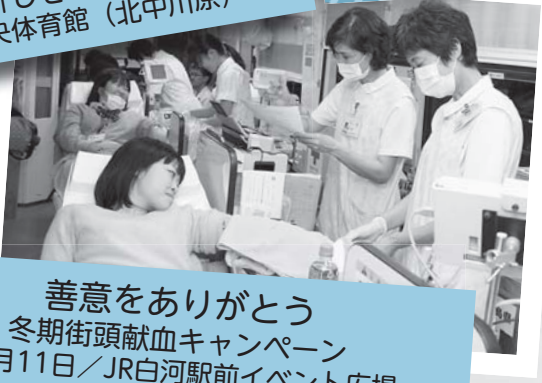
どんぐりいっぱいうれしいな♪
たんぼぼサロン「しぜんとあそぼう」
11月24日/中央体育館(北中川原)



ふわふわ雪玉をつかもう!
おひさまひろば「クリスマス会」
12月6日/マイタウン白河(本町)



白河実業高生が育てた野菜を販売
本町チャレンジショップ
11月26日/マイタウン白河



善意をありがとう
冬期街頭献血キャンペーン
12月11日/JR白河駅前イベント広場

施設の催し

▶歴史民俗資料館(中田7-1/☎2310)

【利用案内】

- 開館時間 午前9時～午後4時
- 休館日 毎週月曜日(1月13日(祝)は開館し、14日(火)は休館)、1月1日(祝)～5日(日)

●入館料 無料

【催し案内】

◇テーマ展

「新春を祝う-おめでたきものたち-」

●会期 1月26日(日)まで

◇展示解説会

1月13日(祝)/午後2時から(申し込み不要)

豊澤山人筆「松に高砂図」
(歴史民俗資料館寄託)



◇常設展 「白河の歴史と文化」

＜お知らせ＞

展示替えのため、1月28日(火)から2月6日(木)まで常設展のみ開催します。

▶白河集古苑(郭内1-73/☎5050)

【利用案内】

●開館時間 午前9時～午後4時

●休館日 毎週月曜日(1月13日(祝)は開館し、14日(火)は休館)、1月1日(祝)～5日(日)

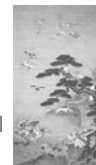
●入館料 大人310円(250円)/小中高生100円(80円)
※()は20人以上の団体料金
※毎週土曜日は小中高生無料

【催し案内】

◇阿部家名品館
「伝来の遺宝と絵画・陶磁器」

●会期 1月19日(日)まで

山本養仙筆「百鶴図」
(白河集古苑蔵)



「伝来の遺宝と阿部家歴代」

●会期 1月23日(木)から

◇結城家古文書館
「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」
ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」開催中

＜お知らせ＞

展示替えのため、1月21日(火)・22日(水)は休館します。

▶総合運動公園(北中川原30/☎8971)

《スポーツ教室》
受講料を添えて、中央体育館(北中川

原)にお申し込みください。電話での受け付けはできません。

◇ジュニアユース(U-14)サッカークリニック教室

●日時 2月15日(土)/午前8時30分～午後4時30分

●場所 中央体育館

●対象 小学6年生～中学2年生50人 ※先着順

●参加料 1,200円

●申込期間 1月31日(金)～2月6日(休)

◎本庁舎生涯学習スポーツ課☎1111 内2386

▶文化センター(中田140/☎5220)

◇新春交流発表会

●日時 1月19日(日)/午前9時から

●入場料 無料

◎事務局 星☎080-1853-1199

◇新春歌謡祭

●日時 1月26日(日)/午前9時から

●入場料 1,000円

◎事務局 門藤☎090-7074-8286

▶東文化センター(東釜子字狐内47/☎1131)

◇新春歌謡コンサート

●日時 1月26日(日)/午後1時から

●入場料 前売 1,000円(当日500円増)

◎NPO法人カルチャーネットワーク(東文化センター内)☎1131

◇第19回白河市東音楽フェスティバル

●日時 2月2日(日)/午後0時50分から

●入場料 無料

◎東音楽フェスティバル実行委員会(東庁舎教育振興課内)☎3146

◇大橋兄弟歌謡舞踊ショー

●日時 2月9日(日)/午前9時から

●入場料 前売 2,000円(当日500円増)

◎大橋兄弟オフィス☎0248☎2011

▶マイタウン白河(本町2/☎7595)

◇白河高校・白河旭高校合同展

●日時 1月22日(水)～27日(月)/午前10時～午後6時 ※最終日午後2時30分まで

◎白河旭高校☎2535

▶白河戊辰見聞館(中町65 楽蔵/☎9395)

【利用案内】

●開館時間 午前9時～午後5時

●休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、1月1日(祝)～3日(金)

●入館料 大人200円(150円)/小中高生100円(70円)
※()は15人以上の団体料金

【催し案内】

◇常設展 「戊辰白河口の戦い展」



歴史ショップコーナー



○住所 白坂陣場317
○電話 ☎2004

白河市立白河第五小学校
校長 薄井英一

教育目標

- 思いやりを持ち 協力し合う子ども
- よく考え すすんで学ぶ子ども
- 健康・安全に気を付ける 元気な子ども

児童にとっての「学びの理想郷」、教師にとっての「教える理想郷」の実現を目指して、小規模校ならではの一人ひとりの児童を大切にしたいきめ細かな指導を行っています。また、「みんながんばる 3つの“あ”～あいさつ・あんぜん・あとしまつ～」を合い言葉に取り組んでいます。

1. 確かな学力の向上に向けて

- 基礎基本の定着や習熟を図るために「ぐんぐんタイム（国語・算数の学習）」「はげみタイム（朝の10分間学習）」を設定し、繰り返し学習に励んでいます。
- 「朝の読書タイム」を設け、必読書を読み切ることを通して、読書習慣や教養を身に付けるようにしています。

2. 地域に根ざした教育活動

- 幼稚園との合同運動会や幼・小・中ノーメディアチャレンジなど、保護者、地域と密接に連携して教育活動を展開しています。
- 読み聞かせボランティア、教育ボランティアとして、優れた技能や豊かな知識を持つ地域の方の協力を得ています。



▲読み聞かせの様子

今月号は
「バイク講座」
の募集です！

きょうい
ホット情報
熱!!

■教育関係のホットな情報を皆さんへ

「市民共学」バイク講座

ボランティア講師を募集しています

市では、バイク講座のボランティア講師（個人・団体）を募集しています。特に、手軽にできる運動のボランティア講師を探しています。



▲「白河の歴史ガイド」の様子

興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

「市民共学」バイク講座とは

市民の学びをともに支え合うことを目的に行う講座で、市内で自主的に活動している各種団体・サークルの会員が講師・スタッフを務め、依頼のあった学校や各団体へボランティアで訪問し、様々なジャンルについて教えます。

バイク講座の種類は

ダンス（ジャンル不問）、ウォーキング、ソフトバレーボール、ポートボール、キックベースボール、ハンドボール、ネイルアート、アクセサリー作成、木工、その他（ジャンルは問いません）。

◎申し込み・問い合わせ先

本庁舎生涯学習スポーツ課 ☎1111 内2383

運動 すすめたい

- し しっかりと大きな声であいさつを
- ら ランドセルの笑顔見守る地域の目
- か 簡単なことから始めようボランティア
- わ わがまちを誇りに思えるまちづくり

りぶらんだより Libran



映画上映案内

市立図書館多目的ホールで上映される映画です。入場無料です。

映画で感性を磨く!!

- 大人向け 「白夜行」 ■日時 1月15日(水) 午後6時～8時30分
- 「カナさん大成功です」 ■日時 2月1日(土) 午後1時30分～3時30分
- 子ども向け 「おじゃる丸～銀河がマロを呼んでいる～」 ■日時 1月18日(土) 午後1時30分～2時30分



催し案内

子どもたちが本を愛するように。

本が好きになる!!

- ちびっこおはなしのくに ■日時 1月16日(木) 午前11時～11時30分
- おはなし会 ■日時 1月11日(土)・25日(土) 午前11時～11時30分
- 会場 おはなしの小屋 ■会場 おはなしの小屋
- 対象 0歳～3歳程度 ■対象 3歳～小学生程度



本の展示

毎月、季節に合わせた本を展示しています。

旬な話題に触れる!!

- 大人の本 「12月は忙しい!!そして1月は？」
年賀状、大掃除、お正月の準備、そして新年に役立つ本を集めました。空いた時間に読み忘れた話題になった本など読んでみませんか。
- 子どもの本 「ぬーくぬく 冬のあたたかーい絵本」
手袋やマフラー、セーターを身に着けたり、温泉やお風呂で温まったり、熱々のおでんやスープを食べたり飲んだり、温かい気持ちになる本を展示します。

◎市立図書館 ▶開館時間 平日10:00～20:00
☎3250 土・日・祝日9:30～18:00
▶休館日 月曜日、第1水曜日
(ただし、祝日の場合は開館し、翌日は休館)

◎大信図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎3614 ▶休館日 月曜日、祝日の翌日
※1月25日(土)は、第19回中山義秀文学賞「贈呈式・受賞記念講演会」のため休館します。

◎表郷図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎4784 ▶休館日 祝日、火曜日、第1水曜日
Event 《おはなし、よんで! (0歳～小学生対象)》
■日時 毎週土曜日/随時

◎東図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎1130 ▶休館日 祝日、火曜日、月末日
Event 《図書館であそぼう! (0歳～7歳対象)》
■日にち 毎日
※視聴覚室使用日を除く

4図書館とも、1月4日(土)から開館します

募集

屋外広告物のあり方 検討懇談会市民委員

市の魅力を高めるため、屋外広告物のあり方について考え、独自の条例の制定に向けた検討を行う懇談会の委員を募集します。

- **応募資格** ①満20歳以上で、市内にお住まいの方または通勤・通学されている方 ②市のほかの附属機関および各種検討委員会の委員でない方
- ③平日昼間の懇談会に出席できる方

シニアボランティア 養成講座

55歳以上の方で、バレーンアートに興味があり、受講後ボランティアとして活動できる方を募集します。

- **日時** 2月4日(火)・7日(金) / 午前10時～正午
- **会場** 中央老人福祉センター
|「白寿園」(北中川原)
- **講師** 石井啓太氏

地域協議会委員および 地域づくり協議会委員を募集します

市では、市民の皆さんからの地域に対するご意見、ご提案などの検討・取りまとめや、市長等の諮問に応じ意見を述べることができる組織として、各地域自治区(表郷・大信・東地域)に「地域協議会」を、白河地域には、同等の機能を持つ「地域づくり協議会」を設置しています。

広く市民の皆さんのご意見を市政に反映させるため、各協議会の委員を募集します。地域自治区や白河地域の活性化に関心をお持ちの方のご応募をお待ちしています。

- **応募資格** 市内に住所を有し、在住する満18歳以上の方
 - **募集人数** 各地域協議会および地域づくり協議会ともに若干名
 - **委嘱期間** 4月1日から2年間
 - **応募期間** 1月15日(水)～2月14日(金)
 - **応募方法** 応募申込書(指定様式)に必要事項を記入のうえ、「地域に活力を育むには」をテーマとした800字程度の作文を添えて提出してください(応募申込書は、本庁舎地域支援課、各庁舎総務課の窓口で配布しています)。
- ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。
● **応募・問い合わせ先** 本庁舎地域支援課 内2256

きる方
● **募集人数** 2人
● **任期** 2月下旬～平成27年9月(予定)

- **応募期間** 1月6日(月)～31日(金)
- **応募方法** 応募用紙に必要事項を記入のうえ、「白河における屋外広告物のあり方について」をテーマとした800字程度の小論文(様式自由)を添えて、郵送、電子メールまたは持参のいずれかにより提出してください。

- **応募用紙**は、本庁舎まちづくり推進課、各庁舎事業課の窓口で配布しています。
- **応募・問い合わせ先** 本庁舎まちづくり推進課 内2747 / Eメール nachi@city.shirakawa.fukushima.jp

サテライト教室

「安倍政権下における日本経済のゆくえ」をテーマにサテライト教室を開催します。

- **日にち・内容** ①2月2日(日) / 「中国経済のゆくえ」
- ②2月16日(日) / 「日本の成長戦略と『クール・ジャパン』」

- **定員** 15人 ※先着順
- **受講料** 無料
- **申し込み・問い合わせ先** 社会福祉協議会 ☎②1159

初心者茶道教室

お茶とお菓子をいただきますから、茶会でのあいさつなど一連の動作を体験しませんか。

- **日時** 2月18日(火)・25日(火)・3月4日(火)・11日(火) / 午前10時～正午

の可能性」 ③2月23日(日) / 「アジア太平洋経済圏とTPPの展望」 ④3月2日(日) / 「アベノミクスのねらいと課題」 ⑤3月9日(日) / 「アベノミクスと日本の財政再建」

- **講師** ①～③福島大学教授 吉高神明氏、④・⑤福島大学教授 阿部高樹氏
- **時間** 午後2時～4時
- **会場** 市立図書館中会議室(道場小路)
- **受講料** ▽一括受講(全講座分) 4,000円 ▽個別受講(1講座分) 1,000円
- **定員** 40人 ※先着順
- **申込期限** 1月31日(金)まで
- **申し込み・問い合わせ先** 本庁舎生涯学習スポーツ課 内2382

白河准看護学院学生

● **受験資格** 高校卒業(見込みを含む)、または同等の学力を有する方(中学校卒業でも履修が可能と認められる方を含む) ※年齢不問

- **定員** 30人
- **試験科目** 国語、数学、作文、面接
- **試験日** 2月5日(水)

案内

声のおたより

朗読ボランティアグループ「さつき会」では、視力に障がいのある方や、高齢で文字を読むことが困難な方などを対象に、市の広報紙や社会福祉協議会だより「なごやか」などを無料でカセットテープに吹き込み、お届けしています。お気軽にお申し込みください。

- **申し込み・問い合わせ先** 社会福祉協議会 ☎②1159

白河の歴史学びの会

観光ボランティアガイド「ツリーズムガイド白河」による白河の歴史学びの会を開催します。お気軽にご参加ください。

- **日時** 1月24日(金) / 午前8時20分～午後0時30分
- **場所** 棚倉城跡、馬場都々古和気神社等(予定)
- **参加料** 無料
- **定員** 30人 ※先着順
- **申込期限** 1月17日(金)まで
- ※詳しくはお問い合わせください。
- **申し込み・問い合わせ先** (財)白河観光物産協会 ☎②1147

傾聴ボランティア 養成講座

すべての講座を受講後、傾聴ボランティアとして活動できる方を募集します。

- **日時** 2月10日(月)・17日(月)・24日(月) / 午後1時30分～3時30分
- **会場** 中央老人福祉センター | 「白寿園」(北中川原)
- **講師** 会津大学短期大学部 講師 木村淳也氏ほか
- **定員** 15人 ※先着順
- **受講料** 無料
- **申し込み・問い合わせ先** 社会福祉協議会 ☎②1159

第19回中山義秀文学賞 「贈呈式・受賞記念講演会」

第19回中山義秀文学賞の贈呈式と、受賞作「破天の剣」の著者、天野純希さんの受賞記念講演会を開催します。

- **日時** 1月25日(土) / 午後1時30分から
- **会場** 市立図書館多目的ホール(道場小路)
- **入場料** 無料
- **中山義秀顕彰会事務局** (中山義秀記念文学館内) ☎④63614

文化財防火デー

1月26日は、文化財防火デーです。貴重な文化財を災害から守るため、市および白河消防署では、地元消防団の協力を得て、防衛訓練を行います。
なお、当日は、消防署員や消防団員が出動しますので、

火災と間違えないようご注意ください。

日時 1月26日(日)午前8時から

会場 鹿嶋神社(大)

文化財課(歴史民俗資料館) 2310

市民文化会館に関するアンケート調査

新しく建設する「(仮称)市民文化会館」の運営に関し、市民の皆さんの求めるニーズを把握し、運営管理計画や開

館後の事業計画に反映するため、アンケート調査を実施します。

調査票は、対象になった方に12月中旬ごろ送付しましたので、届いた方は、ご協力をお願いします。

対象 16歳以上の市民3,000人(平成25年11月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出)

提出期限 1月31日(金)まで
本庁舎文化振興課 内2387

書きそんじハガキ回収キャンペーン

白河ユネスコ協会では、「世界寺子屋運動」の一環として「書きそんじハガキ回収キャンペーン」を行います。

回収した書きそんじハガキは、一枚45円相当の募金となり、世界の学校に通えない子ども5,700万人、読み書きのできない大人7億3,500万人に学びの場を提供します。識字教育などを通じて、平和な社会が実現することを願い活動しています。皆さんのご協力をお願いします。

市ホームページのバナー広告募集

市では、ホームページに掲載するバナー広告を募集しています。バナー広告とは、画像をクリックすることで、広告主のホームページへ誘導する効果のあるインターネット広告の一種です。なお、公共性を損なう恐れのある広告は掲載できません。

広告料 掲載1か月につき2万円(縦65ピクセル×横180ピクセル)
申込方法 申込書に、作成したバナー広告のデータを添えて、本庁舎秘書広報課へお申し込みください。

本庁舎秘書広報課 内2373

痛風予防講演会

痛風は、食生活が豊かになった現在では、決してぜいたく病ではなく、糖尿病と同様に誰もがかかる可能性のある疾患と言われています。

健康診断の結果、高尿酸値だった方や痛風予防に関心のある方を対象に、専門医による講演会を開催します。

日時 2月5日(水)午後1時30分から(受け付けは午後1時15分から)
会場 中央保健センター

まちかど伝言板

新春初笑い寄席

日時 1月26日(日)午後2時から
会場 はくしんイベントホール(旭町)
出演 三遊亭円左衛門、三遊亭楽天
入場料 500円(75歳以上無料)
(財立教志塾) 21427/公益社団法人白河法人会 2160

消費税および地方消費税が変わります

4月1日から、消費税および地方消費税の税率が8%に引き上げられます。

また、今回の引き上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転嫁を確保するため、法律で次のような措置が設けられました。

- 総額表示義務の特例
税込価格であると誤解されないための措置を講じていれば、税込価格による表示をしなくてもよいとする特例
表示例 100円(税抜き)
転嫁拒否等に関する措置
事業者間の取り引きで、税率の引き上げ分の転嫁を拒んだり、チラシや店頭での転嫁を阻害する表示を規制する措置
表示例 「消費税は転嫁しません」など

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

白河税務署 27111/ホームページhttp://www.nta.go.jp/



市長の手控え帖

『ケネデイの輝き』

白河市長 鈴木 和夫

あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。いよいよ今年も、待望の市民文化会館の整備に着手することになり、小峰城の石垣修復も順調に進んでいます。また、大震災で痛ましい犠牲者を出した葉ノ木平も、国道294号のバイパスとして建設する準備に入っています。災い転じて福となす。復興から発展への槌音が響きはじめる年にならうと思います。

キャロライン・ケネデイが米国駐日大使になった。ご存知、ジョン・F・ケネディ元大統領の娘さん。マスコミは競うように大きく報道した。昨年の11月19日は丁度上京していた。東京駅から皇居に続く沿道は山のような人だかり。有名スタ―でも通るのかと尋ねたら、ケネデイ大使を待っているという。そうか新大使が天皇陛下に、信任状を捧呈するため、古式ゆかしく馬車で向かう日にあたって。それにしても、駐日大使がこれほど話題になることはなかった。彼女は政治外交面で実績があるわけではない。でも、不思議なことに、華やいだ気分と、これで日米はうまくいくとの明るさに包まれている。それは、ケネデイという名が放つ輝きによるものだ。若くて、演説上手で、明朗幸せそうな家族。アメリカが、飛びぬけた経済力・軍事力で世界の盟主となり、国民もひとつにまとまっていた黄金の時代に

合っていた。在任わずか2年半。実績の評価は難しいが、人気は突出している。さらに、悲劇的な最期が「理想の大統領」としての印象を焼きつけた。

ケネデイは就任式で訴えた。「国があなたのために何ができるかを問うのではなく、あなたが国のために何ができるかを問うて欲しい」。この言葉は国民の心をとらえた。熱い期待を背にスタートする。だが、世は厳しい東西冷戦の真只中。共に軍事拡張、陣営の拡大に躍りになっていた。見渡せば、世界はひと癖もふた癖もある老練な指導者ばかり。

社会主義諸国を率いる東側の親分はフルシチョフ。好々爺のような風貌だが、激しい権力闘争を生きぬいてきた不敵さが漂う。変幻自在でタフ、とても一筋縄ではいかない。米国の傘下にありながら、核を持ち東側とも手を結び独自の道をいくフランスのド・ゴール。長身瘦躯の軍人大統領はストイックで誇り高く気難しい。日本と闘い、内戦を経て大中国をまとめあげた毛沢東。底知れぬ策謀を秘め、不気味に蟠踞する。いずれも、ケネデイ何するものぞと尊大に構える。若きリーダーは、揺さぶられるが、鍛えられていく。

裏庭のキューバでは、若き革命家チェ・ゲバラとカストロが反米政府を樹立した。そしてキューバ危機。ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設する。船舶の出入りを米偵察機が発見。直ちに撤去を要請。のらりくらりとかわすソ連。米国は断固たる措置をとる。周辺海上を封鎖し、船舶の臨検にはいる。フルシチョフはどう出るか。下手をすれば第三次大戦になる。世界はかたずを飲む。2日後キューバに

接近したソ連船がUターンする。息づまる13日間の激闘だった。

秘話がある。ケネデイは、戦争中、魚雷艇長だった。ソロモン諸島の西で、日本海軍駆逐艦「天霧」と衝突。小さな船体は大破し、海に投げ出された。長時間漂い、何とか島にたどりつく。九死に一生を得たケネデイは、艦長の消息を確認し、手紙での交流を深めた。大統領就任式にも招待した。この士官は塩川町(現喜多方市)の花見弘平さん。海軍兵学校出のエリート。戦後農業に従事し、町長も務め、私が面識を得た頃は、土地改良区理事長をされていた。眼光鋭く威厳のある方だった。

アメリカは、新教徒を中心につくられた移民の国で、歴史も浅い。名望家も少なく、貴族もない。実力と運があれば誰もが頂点に立てる。しかし、国家には、民を束ねるシステムと、心のよりどころが必要。これを、権力と権威を持つ大統領に求めている。ワシントン、リンカーン、ルーズベルトら傑出した人物が国を率いた。だが、ケネデイ家のように長く愛され、影響力を持った家系はない。大使を承認する権限を持つ上院でも、「あなたの適・不適を論ずる必要はない。ケネデイの名は別格」と全員一致で同意。ケネデイ家は、現代の王朝なのかもしれない。

海をはさんだ国際関係はもつれた糸のよう。この地域に平和と秩序を保つには、歴史に学び将来を見通す深い見識と、強靱な意思が欠かせない。ケネデイ大使には、「新しい未来の先駆者となるニューフロンティア精神」を呼びかけた父の心が受け継がれている。日米の架け橋となり、東アジアの安定に心を砕いて頂きたい。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内企業のものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業の
ものづくり・人づくりを紹介！
企業の
ちから

No.21 The company in Shirakawa

春雪さぶー(株)サガミハム白河工場
SAVEUR SS INC.

住所：白坂牛清水105
事業内容：ハム・ソーセージの製造

お客様に安全で安心な
「お皿の上の満足」を提供します



- ① メイン製品であるボロニアソーセージをはじめ、様々なハムやソーセージを製造しています。
- ② 工場外観。毎月2回、外周の清掃活動をしています。
- ③ 工場を案内してくれた製造グループの伊藤晃さん（前列右から2番目）と従業員の皆さん。
- ④ 徹底した温度管理のもと、ハムを加熱させています。
- ⑤ 伝統の製法で加工したひき肉を腸詰めしてウィンナーを製造する様子。
- ⑥ 工場長の植松さん（左）と業務グループリーダーの佐々木さん。

「私たちの会社では、ハムやベーコンなどの食肉加工品を製造しています。ソーセージやウィンナーが好きな子どもをはじめ、消費者の皆さんの喜ぶ姿を想像しながら、味わい深い製品づくりを心掛けています」と話す業務グループリーダーの佐々木昌平さん。

前身の相模ハム(株)は、昭和31年に神奈川県藤沢市で創業。昭和63年には、交通の利便性から、白坂工業団地に白河工場を建設。その後、吸収・合併を経て、平成24年7月に現在の社名に変更しました。最先端の機械設備、品質・安全管理の手法を取り入れ生産する一方で、機械では出せない、昔から受け継がれてきた手作業ならではの味わいとぬくもりを大切にしています。

敷地面積は19,402㎡、従業員は140人、その約9割が地元の人で構成されているこの工場は、地域の雇用に大きく貢献しています。また、従業員には、徹底した衛生管理の教育や、毎日の朝礼での注意喚起を通して、品質・安全管理の意識向上を図っています。

「地域に密着した“ローカルブランド”として、市販品はもとより、今後は、業務用分野にも力を入れながら、新しい技術と伝統ある製法を守り、皆さんに愛される製品を作っていきたいです」と工場長の植松美さんは優しく話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、11月16日から12月17日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

12月18日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

- (株)サン・ベンディング白河 様
- 岩淵康治 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(11月22日～12月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 天理教 北多摩西部支部 様
- スーパーミラクル塾 様

Introduction of the cover 今月号の表紙

今月号の表紙は、本市にゆかりのある洋画家、斎藤正夫画伯の作品「躍進」です。画伯は、父の出身地である白河を、自らの故郷として生涯慕っていました。馬の中に潜む生命力や野生に魅せられ、また、幼少時、白河のまちなかを歩く多くの馬を見て親しみ感じていたことから、馬を題材にした作品を多く残したと言われています。

この作品をはじめとした千支にまつわるものなど、新春を祝う題材の絵画や書物などを展示したテーマ展「新春を祝う—おめでたきものたち—」が歴史民俗資料館（中田）で、1月26日(日)まで開催されています。

新春にふさわしい作品をぜひご覧ください。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ

<https://www.facebook.com/city.shirakawa>